

CI-NET/C-CADEC シンポジウム ご案内 ～更なる普及のために～

(財)建設業振興基金では、建設産業における業務の合理化・効率化のためにICT技術を活用した電子取引を推進しています。

CI-NET に関しては、中堅・地方の総合工事業者の導入検討に役立つように、電子商取引に対する国土交通省の取り組みや先行企業による導入・活用事例を紹介します。C-CADEC に関しては、建設の設計から施工、維持管理まで活用が広がりつつあるBIMについて各方面の取り組み、普及状況、今後等についてパネルディスカッションを行います。

また今回は CI-NET/C-CADEC に関連する ASP やシステムベンダからの各社商品・サービスを紹介するコーナーを設けています。

日 時: 2012年2月24日(金)
9:30～16:00(開場 9:00)

場 所: 日本消防会館
ニッショーホール
東京都港区虎ノ門 2-9-16
Tel.03-3503-1486

参加費: 無 料

定員: 600名

定員になり次第締め切らせていただきます

主催: (財)建設業振興基金

後援: 国土交通省／協賛: 建設産業 41 団体、
保証事業会社、業界新聞社

申込方法:

- ① 下記申込書を Fax. でお申し込みください
 - ② 下記申込書が受講票(受付提出)となります
 - ③ お申込締切: 2/23(木)
- ・Fax.送信で申込完了です。後日受講票等の送付はありません
 - ・定員を超過しお申込を受付できない場合には、こちらからご連絡いたします

申込・問合せ先:

(財)建設業振興基金 建設産業情報化推進センター
Tel.03-5473-4573 Fax.03-5473-4580
E-mail: ci-net@kensetsu-kikin.or.jp

アクセス

銀座線「虎ノ門」3番徒歩5分
日比谷線/千代田線/丸の内線「霞ヶ関」A4 徒歩 10分
日比谷線「神谷町」4番徒歩 10分



..... Faxの際、切取らずにご送信ください

送信先 Fax.03-5473-4580 【 CI-NET/C-CADEC シンポジウム申込書 兼 受講票(受付提出) 】

企業名		区分	<input type="checkbox"/> 一般(下記二つに該当せず) <input type="checkbox"/> CI-NET や C-CADEC の会員企業 ^{注1} <input type="checkbox"/> 企業識別コードの取得企業 ^{注2} 御社 CI-NET 企業識別コードをご記入ください	
所在地	〒 -	該当に「レ」で チェックしてく ださい		
所属・役職				
フリガナ 氏名		E-mail		
Tel.	- -	Fax.	- -	

※ 当基金が収集した皆様の個人の情報は、CI-NET/C-CADEC 関連業務のみに使用します

注1 会員企業: 情報化評議会(CI-NET)、設計製造情報化評議会(C-CADEC)の会員企業です

注2 CI-NET 企業識別コード取得企業: CI-NET を利用した電子商取引を行うために必要な企業識別コード(6桁)を取得している企業です

会員企業、企業識別コードを確認するための URL: <http://www.kensetsu-kikin.or.jp>

協会

【 CI-NET/C-CADEC シンポジウム プログラム 】

■ 2012年2月24日(金)

時間	内容
9:00 9:30	開場 開会
9:30	■主催者挨拶 建設業振興基金
9:40 (15分)	■来賓挨拶 建設産業の現状と今後の課題 国土交通省土地・建設産業局建設流通政策審議官 佐々木 基
9:55 (50分)	■講演1 国土交通省における電子商取引への取り組みについて 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課企画専門官 新宅 幸夫 ・総合工事業者、専門工事業者等により構成される企業グループによる CI-NET の導入 検討事例(導入のポイント、費用対効果等)について紹介いたします。 ■講演2 建設業における法令遵守への取り組みについて 国土交通省土地・建設産業局建設業課課長補佐 仲嶋 幹雄 ・元請下請間等の取引の実態等を調査した平成 23 年度下請代金等実態調査結果や建 設業法令遵守推進本部の取り組み等について紹介いたします。
10:45 (45分)	■講演3 「オレ流」からの脱皮と飛躍的成長 牧野 二郎弁護士 ～現場優位から、利用者優位への歴史的転換を～ 現場作業による仕様や設計変更は、部分最適化として必要であっても、その内容が共有 されていない場合が多く、後の人が対応できないという現実が生まれます。 電子化は、標準化、ルール化であり、高度化の基本となります。電子化により、技術が標 準化され、改善、改良も自由自在になります。クローズドな技術から、オープンな技術に、そ して更なる技術改善と飛躍的発展は、電子化がもたらすものです。 電子化が約束する歴史的転換を理解して、勇気を持って電子化を進めましょう。
11:30	休憩(75分)
12:45 (75分)	■報告 電子商取引の導入・運用事例の紹介 ・電子商取引の導入を検討している企業に参考となる先行企業の導入・運用の事例を紹 介します。 事例1: 株式会社土屋ホールディングス 事例2: 株式会社ミルックス 事例3: 五洋建設株式会社
14:00	休憩(20分 コーヒーブレイク)
14:20 (100分)	■パネルディスカッション 「これからどうなる？日本の BIM 2」 ・昨年度に引き続き、近年活用され始めている BIM について、多様な立場のパネリストを お招きし、今後の日本の建設業界での普及等について議論いただきます。 【コーディネータ】 山下純一 C-CADEC 運営委員長、IAI 日本代表理事、株式会社 CI ラボ代表取締役 【パネリスト】 小黒賢一 国土交通省 大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室 室長 岡 正樹 C-CADEC 建築 EC 推進委員長、株式会社 CI ラボ顧問 奥山隆平 日建設計 設計部門 設計部 部長 今野一富 高砂熱学工業 技術本部生産技術部 担当部長 柴峯一廣 梓設計 情報システム部 部長 森 元一 竹中工務店 東京本店 設計部プロダクト設計部門 課長
16:00 16:15	閉会 閉場

※CI-NET/C-CADEC 関連の ASP およびシステムベンダによる商品・サービス紹介のコーナーがあります。
※講演内容、講師、時間等は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。